

朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会  
地域ビジョン【概要版】

令和7年3月



朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン

地域ビジョンとは、ひとまもり・まちまもり協議会がこれからの地域をより良いものにしていくためにはどのように活動すればよいかを示す指針です。将来を見据えたまちづくり活動を行うための体制づくりのきっかけとなるものであり、住民と自治体等が対等なパートナーとして、ともに理想の地域を築くための道しるべです。この度、朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会としての今後のまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定しました。

■ 地域ビジョン

子どもから大人まで、山間地から温泉街まで、  
「みんなが笑顔で楽しくつながりあえるまち」へ

朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会の  
目指す地域づくり

「地域の資源や行事をまもり、住民同士のつながりを強化する」ための組織として活動を行う中で、様々な地域交流事業などで一定の成果を挙げてきました。一方、世代間交流や組織の若返り、地域間の特色の差など、改善すべき事柄にも着手してきました。

若い世代は地域組織の活動に対して、参加意欲があっても、忙しい日々の中では「時間の調整が大変」「気軽に参加しても責任をもってやり遂げられるのか」など、企画運営段階から携わることについて不安を感じる要素もあるようです。そこで、協議会活動の目的をしっかりと伝え、小さなことから参加できるようにし、つながりあえる仲間を幅広い世代で増やす取組が重要となります。

未来の世代へ多くの「幸せ」を財産として残せる体制を築き、山間地、住宅地、温泉地といったそれぞれの地域の特色をいかした取組を実施し、住民が楽しく笑顔になれるまちにするための活動にしていきます。

■ ひとまもり・まちまもり協議会とは

ひとまもり・まちまもり協議会は、多様な人や団体が連携して、住民が力を合わせて主体的に地域づくりを行う新たな地域コミュニティです。地域住民が中心となって、地域の特性をいかながら連帯感を高め、将来を見据えた地域づくりを行っています。自治会を含めた多様な主体や幅広い人材が連携・協力することにより、様々な課題に対して、ネットワークをいかした自主的・効果的な取組が期待できます。

地域ビジョン策定について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するためにワークショップを実施しました。朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会の現状と課題についての整理を行い、活動するうえでの活動目標と活動方針を整理しました。

■ 朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標

| 活動目標①     | 多世代がいきいきと活躍できる地域づくり                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること | ●会議や活動に多くの住民が参加できるとよい<br>●若い世代や子育て世代など同世代のつながりを深められる機会をつくる<br>●活発な意見交換ができるコミュニケーションの機会を提供する<br>●地域の各種団体の連携を強化していく |
| 活動方針      | 若い世代からお年寄りまで、すべての世代が主役になれる地域にするための協議会として活動していきます。協力団体の連携も強化し、多様な人材や団体を巻き込みながら、誰もが活躍できる地域にします。                     |

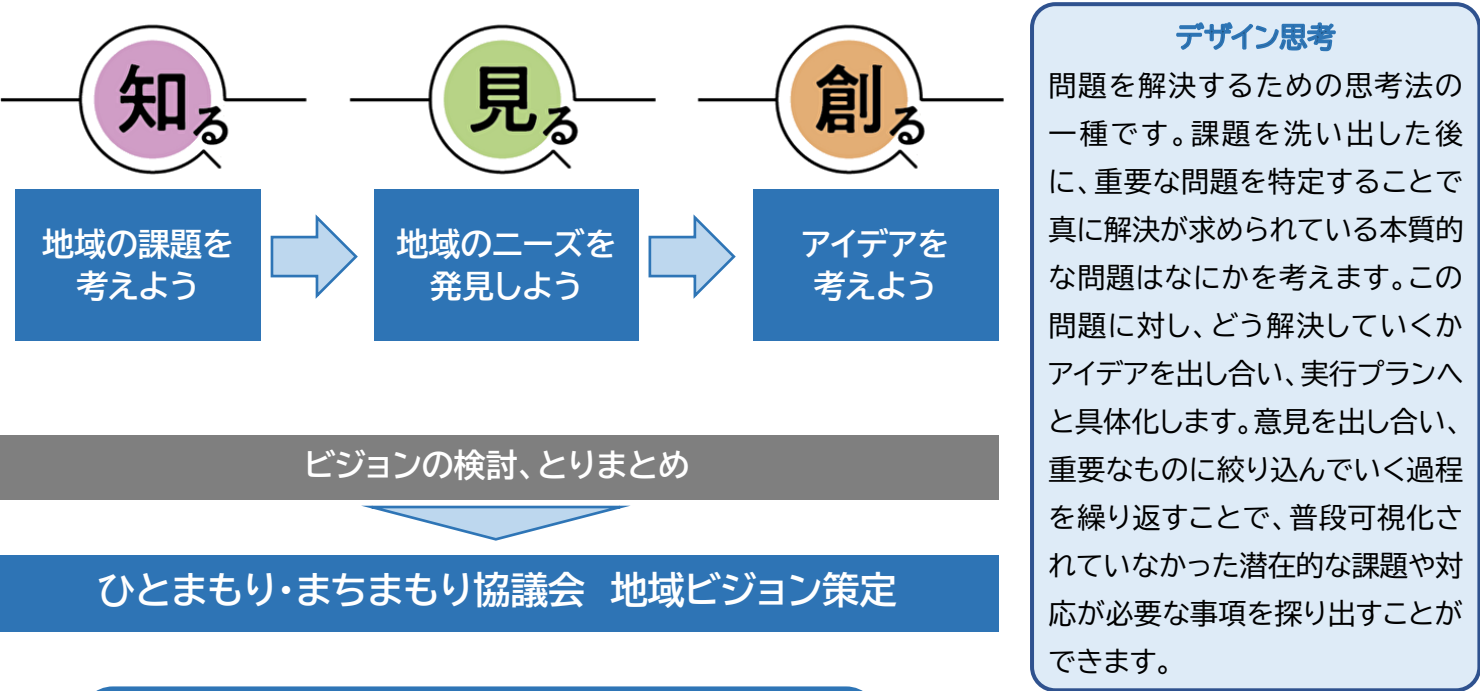
| 活動目標②     | 時代に合わせて柔軟に変化できる取組                                                                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること | ●地域の伝統をまもりつつ、既存の活動内容を改善し、発展させる<br>●多くの人に参加したいと思える、ニーズに合ったイベントを行う<br>●地域資源である温泉を活用した取組を行う<br>●地域全体のみならず、近隣付き合いも深めていきたい |
| 活動方針      | 既存の取組やイベントを続ける中で、伝統を大切にしつつ柔軟に変化させます。さらに、目的を明確化することで、「参加したい協議会」として活動していきます。                                            |

| 活動目標③     | 情報発信改革・コミュニケーション改革                                                                                                      |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること | ●協議会内の連絡体制を確立し、円滑なコミュニケーションを図る<br>●住民への情報提供の方法を工夫し、幅広い世代に情報発信を行う<br>●地域の人材を紹介できる機会や発信の場を提供する<br>●イベント等を通じて協議会の認知度を向上させる |
| 活動方針      | 情報発信や共有の仕組みづくりにインターネットを積極的に活用します。紙媒体や掲示板の活用方法も常に改善し、活動が「見える」「わかりやすい」協議会、積極的に参加したくなる協議会にします。                             |

| 活動目標④     | 地域をまもり、支える組織づくり                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること | ●災害に向けた対策を強化する<br>●災害時に互いに助け合える地域コミュニティをつくる<br>●防犯、治安向上の取組を行う<br>●子どもが安心して遊べる場所(機会)を提供する |
| 活動方針      | 防災士の連携や子どもの安全をまもる活動など、既存の取組を継続しながら、南海トラフ地震などの今後想定される災害にも対応し、安心安全に、長く暮らすことができる地域をつくります。   |

# 課題解決ワークショップの開催について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するために、「持続可能なまちづくり」をテーマとし、デザイン思考を用いた「課題解決ワークショップ」を全3回にわたり実施しました。



# 朝日大平山ひとまもり・まちまもり協議会の概要

**地区の基本情報**

|      |                                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設立   | 令和元年8月30日                                                                                                   |
| 事務所  | 別府市火売 8 組 1<br>朝日大平山地区公民館内                                                                                  |
| 構成団体 | 自治会（朝日大平山17町）、民生委員<br>児童委員協議会、社会福祉協議会、<br>青少年育成協議会、小学校、中学校、<br>地域包括支援センター、地区公民館                             |
| 該当地区 | 新別府、馬場、火売、北中、鉄輪上、<br>風呂本、御幸、井田、鉄輪東、北鉄輪、<br>明礬、湯山、天間、小倉町、朝日ヶ丘町、<br>大畑、竹の内                                    |
| 面積   | 約 21.47 km <sup>2</sup>                                                                                     |
| 人口   | 朝日大平山地区全体: 19,015 人<br>15 歳未満: 2,139 人<br>15～64 歳: 9,970 人<br>65 歳以上: 6,906 人<br><small>(令和6年7月末現在)</small> |
| 高齢化率 | 36.3%                                                                                                       |

〔別府市内図〕

## 「課題解決ワークショップ」で出た主な意見

第1回  
知る

ワークショップの中で朝日大平山地区に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題は何なのかを考えました。

**■ワークショップで挙げた課題**

|                    |                                                                                  |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| キーワード：若者、後継者不足、高齢化 | 実際の意見<br>●若いアイデアの不足、若者に入ってほしい<br>●子ども会自体の会員不足から、子ども会がない地域がある<br>●後継者不足、高齢化が進んでいる |
| キーワード：地域コミュニティ     | 実際の意見<br>●地域コミュニティや行事に魅力がない<br>●何をしているか見えない<br>●コミュニケーションが苦手                     |
| キーワード：イベント         | 実際の意見<br>●実行委員に広がりがない<br>●イベントが変化していない                                           |
| キーワード：まちなみ         | 実際の意見<br>●まちなみの変化に伴う、まちに潜む危険の変化<br>●まちなみが変わって魅力が変わったので方法を変えないといけない               |
| キーワード：災害/南海トラフ地震   | 実際の意見<br>●南海トラフ地震に対する危機感や準備ができない、心構えがない<br>●災害時に必要な若い人が足りない                      |
| キーワード：その他          | 実際の意見<br>●野良猫が多い、許可を得ずに野良猫に餌をあげる人がいる<br>●空き家が増えた                                 |

第2回  
見る

朝日大平山地区が目指すべき姿を考えました。

第3回  
創る

朝日大平山地区が実際に取り組みたいアイデアを出し合いました。

**目指すべき姿**  
どの世代も活躍できる協議会として活動する  
より地域を活性化させる活動にする  
情報の発信や共有に新しい手段を取り入れる  
住民が不安なく生活できる地域にする

**アイデア A**  
日常的に関係を作っていきたい！  
ラジオ体操を企画できないかな！？

**アイデア B**  
地域の絆を深めるためみんなで協力して  
朝日大平山オリンピックを実現したいね！

**アイデア C**  
天間こんにゃくを大切に受け継ぎたい！  
美味しさをもっと伝えたい！

**アイデア D**  
子育て世代の意見をもっと取り入れたいよね。  
学校で大盆踊り大会を開催したらどうだろう？